

- ・熱中症による救急搬送人員の年齢区分別では、高齢者が半数以上を占めています。また、傷病程度別では、全体の3割以上の方は入院（重症・中等症）が必要でした。
 - ・発生場所別では、住居（敷地内全ての場所を含む）での発生が約4割を占めています。
- ※仕事場①：道路工事現場、工場、作業所等 仕事場②：田畑・森林、海・川等（農・林・畜・水産作業を行っている場合のみ）
公衆(屋内)：不特定者が出入りする場所の屋内部分 公衆(屋外)：不特定者が出入りする場所の屋外部分

熱中症による救急搬送人員の内訳（令和7年）※5～9月の調査集計

【年齢区分別】

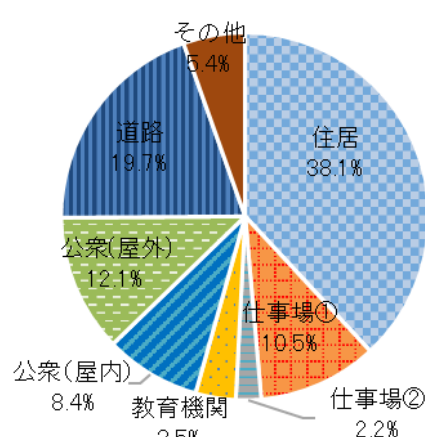
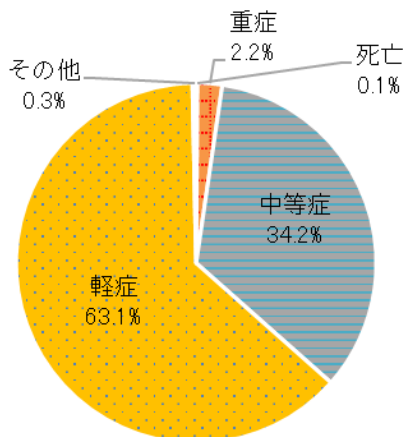
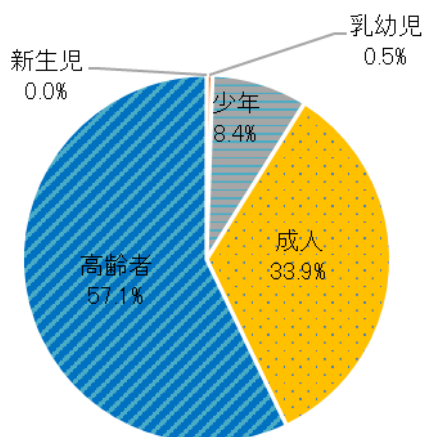
【初診時における傷病程度別】

【発生場所別】

高齢者が半数以上を占めています。

全体の3割以上の方は入院（重症・中等症）が必要でした。

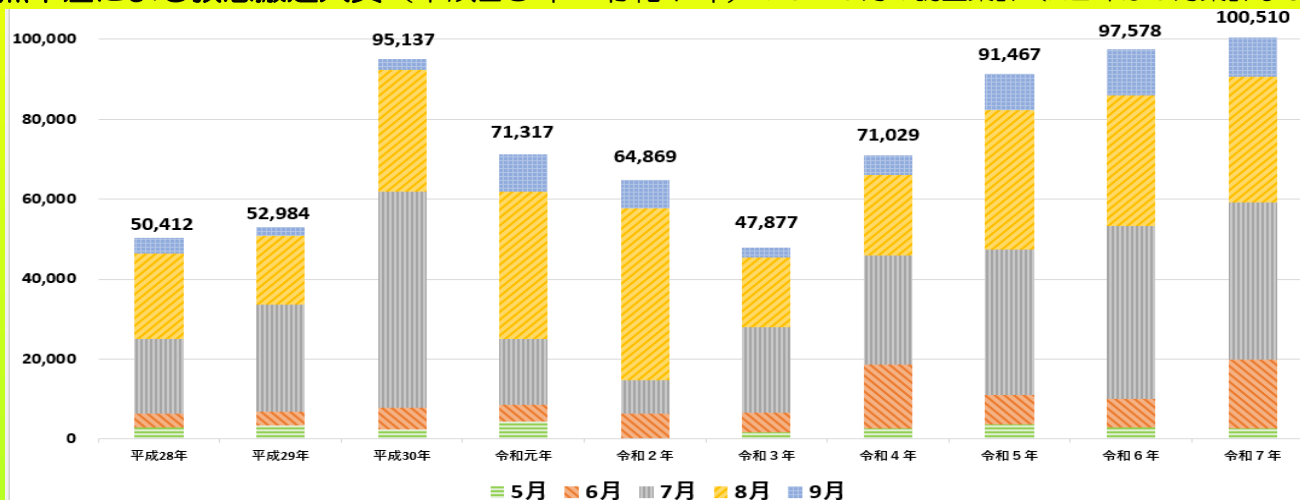
住居（敷地内全てを含む）での発生が約4割を占めています。



(注)端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

令和7年も非常に厳しい暑さが続き、救急搬送人員の累計は、調査を開始した平成20年以降で最も多い100,510人でした。特に6月は過去最多の搬送人員だったことから、早めの予防が重要であるといえます。

熱中症による救急搬送人員（平成28年～令和7年）※5～9月の調査集計（R2年は5月集計なし）



◆ 消防庁では「夏期における熱中症による救急搬送人員の調査」の速報を週ごとに公表しています。
URL：<https://www.fdma.go.jp/disaster/heatstroke/post3.html#heatstroke01>

参考：環境省「熱中症環境保健マニュアル」

http://www.wbgt.env.go.jp/heatstroke_manual.php



消防庁

FDMA
住民とともに

<https://www.fdma.go.jp/>